

第5期第3回箕面市水道事業及び公共下水道事業運営審議会 会議録

- 1 会議名 第5期第3回箕面市水道事業及び公共下水道事業運営審議会
- 2 日時 平成27年(2015年)10月21日(水)午後3時～5時15分
- 3 場所 箕面市立中央生涯学習センター 3階 講座室
- 4 出席者
 - (1) 委員
稲垣(千秋)委員、稲垣(勝伸)委員、大住委員、大西委員、笠原委員、
陳委員、照屋委員、中堀委員、福井委員、三上委員、八木委員、
 - (2) 箕面市
出水上下水道企業管理者、武藤上下水道局長、川添副部長、桃山副理事、
佐多副理事兼浄水室長、井口経営企画室長、村上水道工務室長、石橋下水道室長、
牧野経営企画室財務グループ長

(事務局) 上下水道局経営企画室
羽田総務グループ長、東本事務職員
- 5 傍聴人の数
1名
- 6 任命式
委員交代による任命書交付(1名)
- 7 出席委員及び職員の自己紹介
- 8 議事【会議要旨】

(会長が議事進行)

(市長からの諮問書を会長に手交)

(1) 箕面市下水道使用料の値下げにかかる諮問について

①収支見込みの精査結果について

箕面市

以下の資料に基づき説明

- 「第5期第3回箕面市水道事業及び公共下水道事業運営審議会会議資料」P.1～2
- 資料1 人口推計結果
- 資料2 財政収支見通し【水道事業（箕面市人口推計による）】
- 資料3 財政収支見通し【公共下水道事業（箕面市人口推計による）】

<質疑等>

委員

以前は、過去の建設工事に充当した国庫補助金や受贈財産については、減価償却費から差し引くことも、差し引かずに全額減価償却することも事業体の任意であったが、平成26年度から、地方公営企業会計基準の見直しにより、全額減価償却費に計上し、当該建設工事の際に収入した国庫補助金等の財源について、減価償却期間に対応し、「長期前受金戻入」という位置づけで、収入に計上し、収益化することに統一されている。これは会計学の見地から、問題をはらんだ改正であるにとらえている。建設工事の際に充当した国庫補助金等の財源は、次回の更新の際に入ってくるという保証はない。これを収益に計上したり、平成25年度まで制度として認められていた「みなし償却」という形で費用から差し引くことは、本来、減価償却費に計上して、次回の更新のために留保しておかないといけない財源を流出させていることと同じで問題である。今回値下げということであるが、いったん値下げすると、なかなか値上げしにくい。名目上の黒字にとらわれることなく、本来の減価償却費により、将来の更新費用を確保できるよう慎重に収支見通しを立てるべきである。今後20年間は黒字という説明であるが、30年後、40年後まで視野に入れて、更新費用を蓄積しておくよう意見しておきたい。

箕面市

ご意見については、真摯に受け止めます。1点だけ説明させていただきたいのは、下水道管の更新については、一般的に耐用年数50年とされているが、耐用年数の到来する前の45年目にカメラ調査を実施し、修繕・工事の必要な箇所を特定して、修繕・工事を実施する。以降、これを63年目、75年目、88年目と繰り返し、その都度必要に応じて修繕・工事を実施する。これらの年次において、何パーセントくらいの修繕・工事が必要になるのか、国土技術総合研究所の示す経過年数ごとの健全度予測値をもとに算出しており、こういった長寿命化により、修繕・維持費用の抑制を図ろうとしていることもあわせて説明しておきたい。

委員

公共下水道事業の収支見通しでは、平成43年度以降、純損益が増加しているが、何か理由があるのか。

箕面市

萱野汚水中継ポンプ場については、ポンプ場下流の幹線を圧送方式から自然流下方式に切り替える。ポンプ場を廃止する。その結果、維持管理経費が圧縮できる。

委員

流域下水道負担金については、どのように推計しているのか。

箕面市

特に大阪府から示されている数字があるわけではないので、汚水量に応じて増減するものとして推計した。

委員

今回の検討は下水道使用料だけか。水道料金もあわせて検討するのか。

箕面市

自治体によっては、政策としてセットで議論する場合もあるが、会計としては別々で区分されているものなので、今回検討いただくのは下水道使用料だけと考えていただきたい。

②値下げにかかる原資について

箕面市

(「第5期第3回箕面市水道事業及び公共下水道事業運営審議会会議資料」P.3に基づき説明)

<質疑等>

委員

経費回収率の引き下げポイントは幅をもたせたものになっているが、どれくらいを妥当と考えているか。

箕面市

一定の余裕を確保するという視点で考えると、4%程度ではないかと考えている。

③下水道使用料の値下げのあり方について

箕面市

(「第5期第3回箕面市水道事業及び公共下水道事業運営審議会会議資料」P.4～10に基づき、現行料金体系のあらましについて説明)

<質疑等>

特になし

箕面市

(「第5期第3回箕面市水道事業及び公共下水道事業運営審議会会議資料」P. 11～15に基づき、料金値下げのあり方の検討について説明)

<質疑等>

委員

先ほど、名目上の黒字にとらわれることなく、本来の減価償却費により、将来の更新費用を確保できるよう慎重に収支見通しを立てるべきとの指摘をしたが、引き下げ額が月額86円程度というのは、たいした引き下げ額でもない。また、大阪府内の自治体の下水道料金を見比べても、箕面市が高いわけでもない。今後20年間は黒字としても、30年後、40年後の更新費用を考慮し、値下げせず、現状の料金体系のままにしておいてはどうか。

箕面市

今後20年間に必要な建設改良費にかかる財源調達については、次回の更新時には前回の更新と同レベルの国庫補助金は期待できないということ、財源として受贈財産は入ってこないのも、自前で更新しないといけないということも踏まえており、使用料を引き下げても支障はないものと考えている。

委員

以前の審議会で、大阪広域水道企業団の料金引き下げに伴う、水道料金の値下げについて審議した。そのときは確か、少量使用者への配慮ということで、基本料金を値下げしたが、今回は事務局が考えている方針はあるのか。

箕面市

基本料金のみ引き下げ、従量料金のみ引き下げ、その組み合わせなど、広く委員の皆様にご議論いただき、そのなかで方向性を見いだしていきたいと考えている。

委員

審議会としての意見はいつまでにまとめたらいいのか。

箕面市

次の案件の「今後の審議内容及び開催予定について」にもかかわるが、次回の審議会は11月4日を予定している。本日、今回お示ししている値下げシミュレーションは、経費回収率の引き下げ幅を4.5%と仮定して、パターン1（基本料金の

み引き下げ、パターン2（基本料金は据え置き、従量料金のみ引き下げ）、パターン3（基本料金・従量料金ともに引き下げ）という3つのパターンをお示ししている。これらをもとに、委員の皆様で議論を深めていただき、いただいたご意見を踏まえ、次回は経費回収率引き下げ幅を4.0%程度にして試算を行い、再度議論をいただき、次回の審議会で審議会としての方向性をおまとめいただきたいと考えている。答申書については、次回の審議会で決まった方向性に沿って、会長と調整のうえ、まとめさせていただきたい。

委員（会長）

値下げの3つのパターンが示されているので、一人一人ご意見をいただきたい。

委員

自分自身にとっては、パターン1の基本料金を値下げするのが、値下げの実感があると思う。

委員

今回の料金改定は、期間限定の特例措置の扱いになるのか。

箕面市

特に期間は限定せず、今後20年間を見据えた見直しである。

委員

であれば、料金値下げ後の収支については、一定期間後に検証していく必要があると思う。そのうえで、一般市民の感覚としては、パターン1がよいと思う。

委員

どちらかといえば、パターン1がよい。

委員

比較的使用水量が多いので、パターン3の方が良いと思う。

委員

パターン2が良い。

委員

標準的な世帯の汚水量はどれくらいが一般的か。

箕面市

一戸当たり平均では概ね20m³で、20m³までの使用者が約7割、30m³までの

使用者が9割を占める。

委員

資料を見比べると、20 m³の汚水量の使用者では、パターン1が一番還元額が多くなっている。パターン3をベースに、20 m³の汚水量の使用者にもう少し還元できるようなシミュレーションはできないか。

委員

水量の構成比のデータをみると、基本料金内に収まっている使用者の汚水量は上限の8 m³に達していないケースが結構多い。基本料金だけ値下げすると、ごく少量の使用者でも引き下げ額は同額になるので、少し偏ってしまうのではと思う。あえていえば、パターン3が良い。

委員

理論的には、パターン2が適切と考える。一般的に、値上げするときには、従量料金を引き上げる場合が多いが、使用水量にかかわらず使用者に均等に負担を求めべき経費もあるので、値下げとなると基本料金を下げるとするのは、どうかと思う。

一方、市民にとってどうかという視点もある。パターン2だと、大口の使用者に多く還元され、一般的な世帯への還元額は少なくなる。これらを踏まえるとパターン3が無難かと思う。

委員

市としての将来像などといった情報が不足しているので、答えにくいですが、パターン3が妥当かと思う。

委員（会長）

概ねパターン1、パターン3という意見が多かった。今日の議論を踏まえ、事務局には、今回示されたシミュレーションについて、次回は、経費回収率の引き下げ幅を4.0%程度にして再度示していただきたい。また、パターン3については、アレンジして、汚水量20 m³までの使用者にもう少し還元できるようなシミュレーションも作成してほしい。

(3) 今後の審議内容及び開催予定について

箕面市

次回は、11月4日（水）15：00から箕面市消防本部3階研修室にて開催する。経費回収率引き下げ幅を4.0%にしたシミュレーションをお示しするので、下水道使用料の値下げのあり方について、引き続きご審議いただき、審議会として

の方向性をまとめていただきたい。

<質疑等>

特になし